

アート 2024 フェスティバル

石橋文化センターでは、2016年の久留米市美術館開館から毎年、アートプロジェクトという事業に取り組んでいます。これは、子どもたちとアーティストが共同制作したり、市民とアーティストが交流したり、大学生の創作活動を支援しながら久留米の文化芸術を発展させていこうとする事業です。そしてアートフェスティバルは、その成果を市民の皆さまにお披露目する場です。ぜひアートであふれる園内をお楽しみください。



しあわせの家をつくる

天野百恵
(アーティスト/美術家/デザイナー)

×小学生

石橋文化センターの「世の人々の楽しみと幸福の為に」という言葉。センターの中の様々な場所を歩いていると、その想いが伝わってくるような気がする。もしここに家があるとすれば、どんな家だろう。きっとワクワクするような家なんじゃないかな。私は今回、子ども達と一緒に「しあわせの家」を作ってみることにした。



水の妖精の棲むところ

九州産業大学大学院
芸術研究科



芸術学部の大学院生6名の有志による作品。春から夏にかけて何回もフィールドワークを行い、園内の自然に着想を得る。その作品は、陶器で水の妖精をかたどり、石橋文化センターの自然に息づく妖精たちをインスタレーションで表現。見て聞いて癒される作品を展示。



創作活動の
様子を発信
しています!

オレクトロニカ アートセンター 路上活動実践室

オレクトロニカ
(加藤亮と児玉順平による美術ユニット)
×佐賀大学 芸術地域デザイン学部

2011年から「制作と生活」をテーマに大分県竹田市を拠点に活動している「オレクトロニカ」と佐賀大学生5名による作品。園内に、市民の皆さんと作る臨時アートセンターを設置し、学生によるサポートのもと皆さんの創作・表現活動のはじめの一歩を応援。オレクトロニカアートセンター内での展示やパフォーマンス・路上表現などやってみたい人募集。 ※募集内容については、後日、石橋文化センターホームページで公開



作品イメージ(オレクトロニカによるドローイング)

光をあつめて地にもどす 軽さ・明るさ Lightness/ Lightness

オーギカナエ(現代美術作家)

坂本繁二郎旧アトリエそばの広場に循環を表すふたつのオブジェを制作。アトリエ内部には来場者とともに小さな船に乗ったスマイルを制作しスマイル船団をつくる。手漉き和紙でつくったオブジェと共にスマイル船団は希望を乗せたインスタレーションとなり船出する。



@2024EUREKA

ワークショップ

●スマイル船団をつくらう!

イエローの柔らかな粘土で手のひらサイズのスマイルが乗った船をつくる



●スマイル茶会Lightness/Lightness

ほっと身体が軽くなり、ココロにスマイルを持ち帰るお茶会を開催
協力/太宰府菓子調整處藤丸・藤丸阿弥

※ワークショップ詳細は、後日、石橋文化センターホームページで公開

同時開催

石橋文化センター園内

秋のバラフェア2024

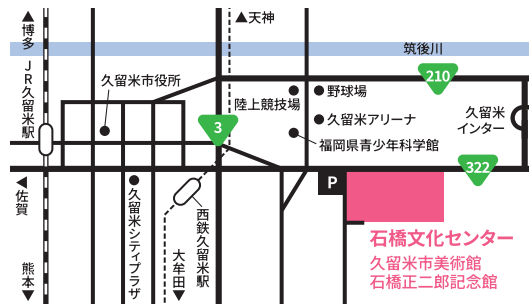
10/12(土)~11/17(日)

久留米市美術館

日本が見たドニ | ドニの見た日本

11/2(土)~1/13(月・祝) 10:00~17:00
(月曜休館 ※祝日の場合開館)

一般 1,200円、シニア 900円、大学生 600円、高校生以下 無料



ようこそ、
芸術の庭へ。